

東由利村報

No. 107 1966 • 5 • 30

発行
東由利村役場
編集
畠山 伝二郎
印刷
KK本間印刷所

盛り上つた

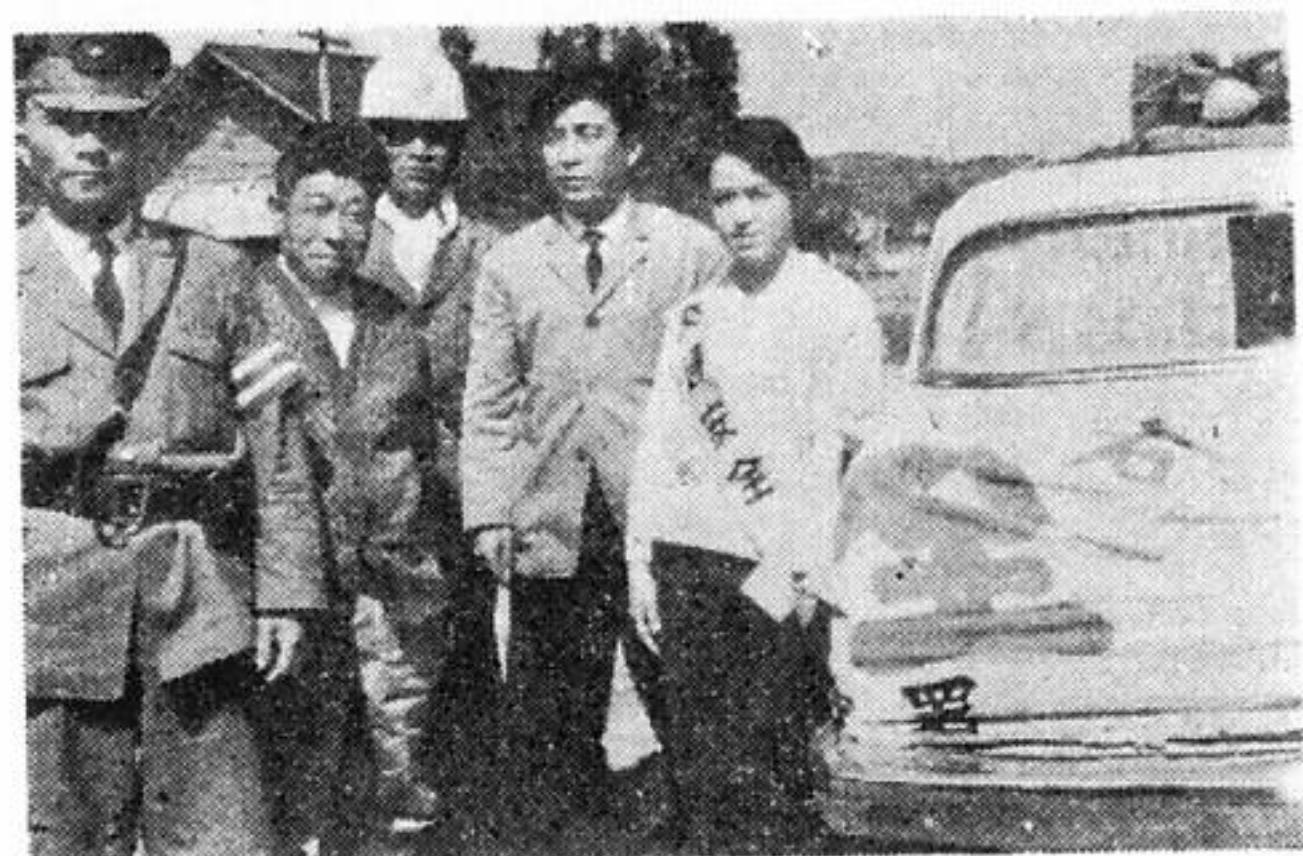
交通安全運動

5月11日から20日までの全国交通安全運動については、村が主体となり、村交通安全協会、派出所と共に全村運動の総合計画をたて、各中小学

校・定時制高校・婦人会・青年会・部落会等の協力を得て文字どおりの全村運動を展開した。



交通安全協会のパレード



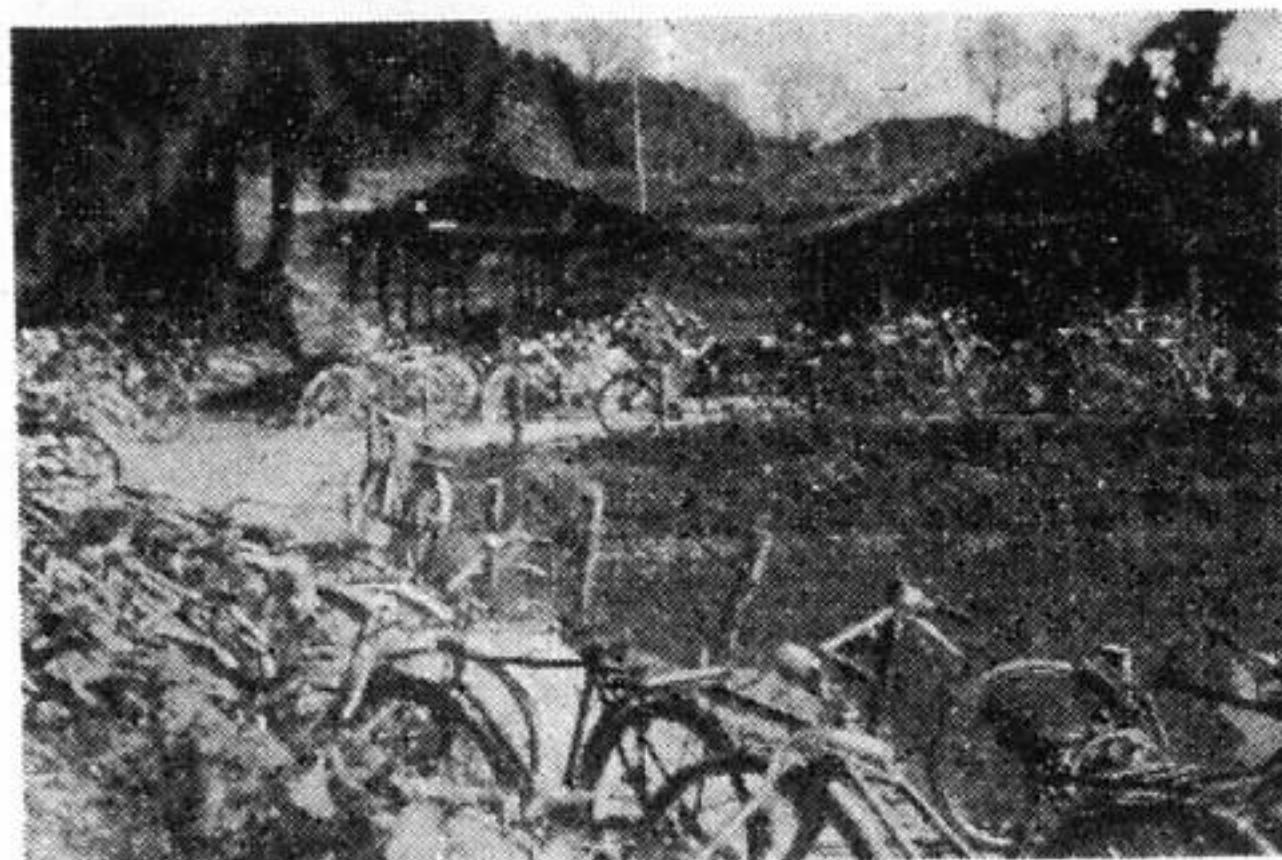
広報車のメンバー



下郷中学生の街頭指導



こうして新町の親達は順番に期間
中やりとおした



おびただしい下中の自転車（車よ
どうぞ無事に…）

5区連合体育大会

6月12日

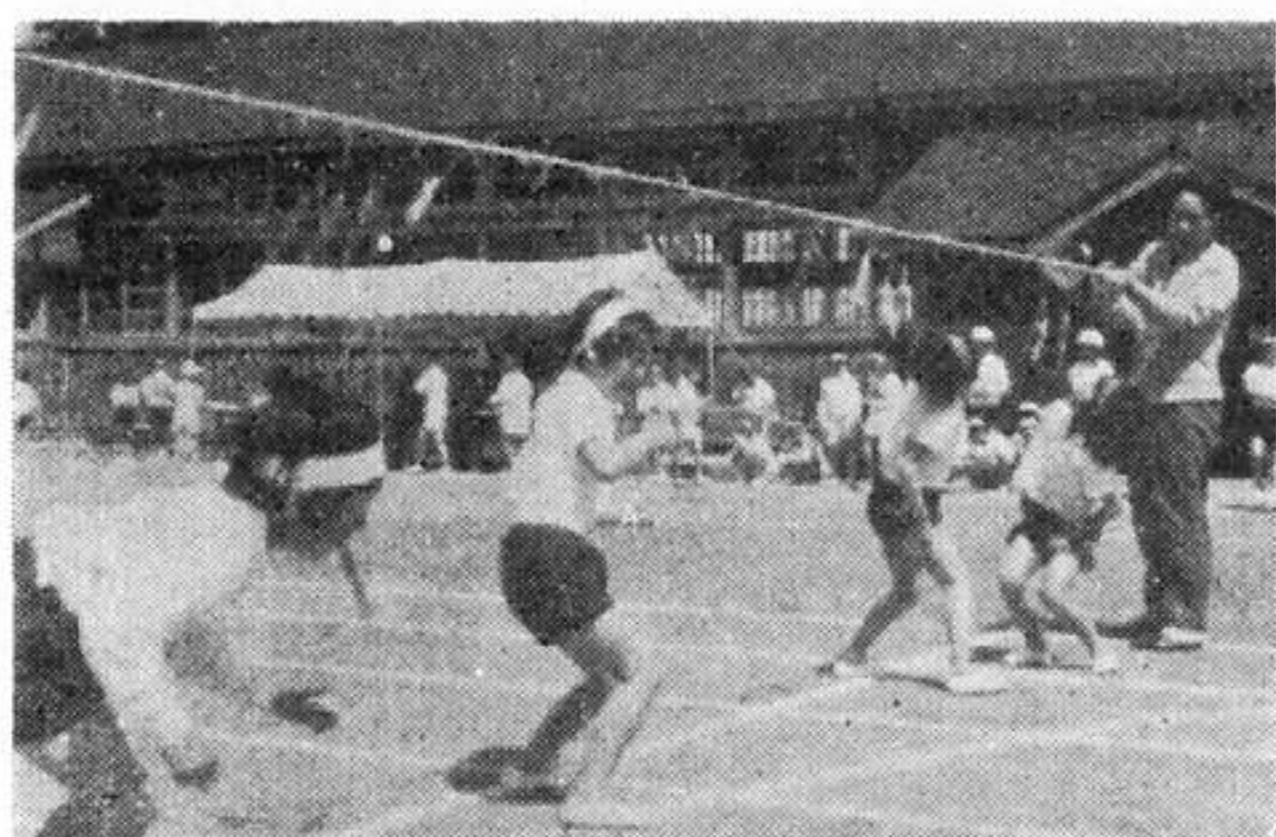
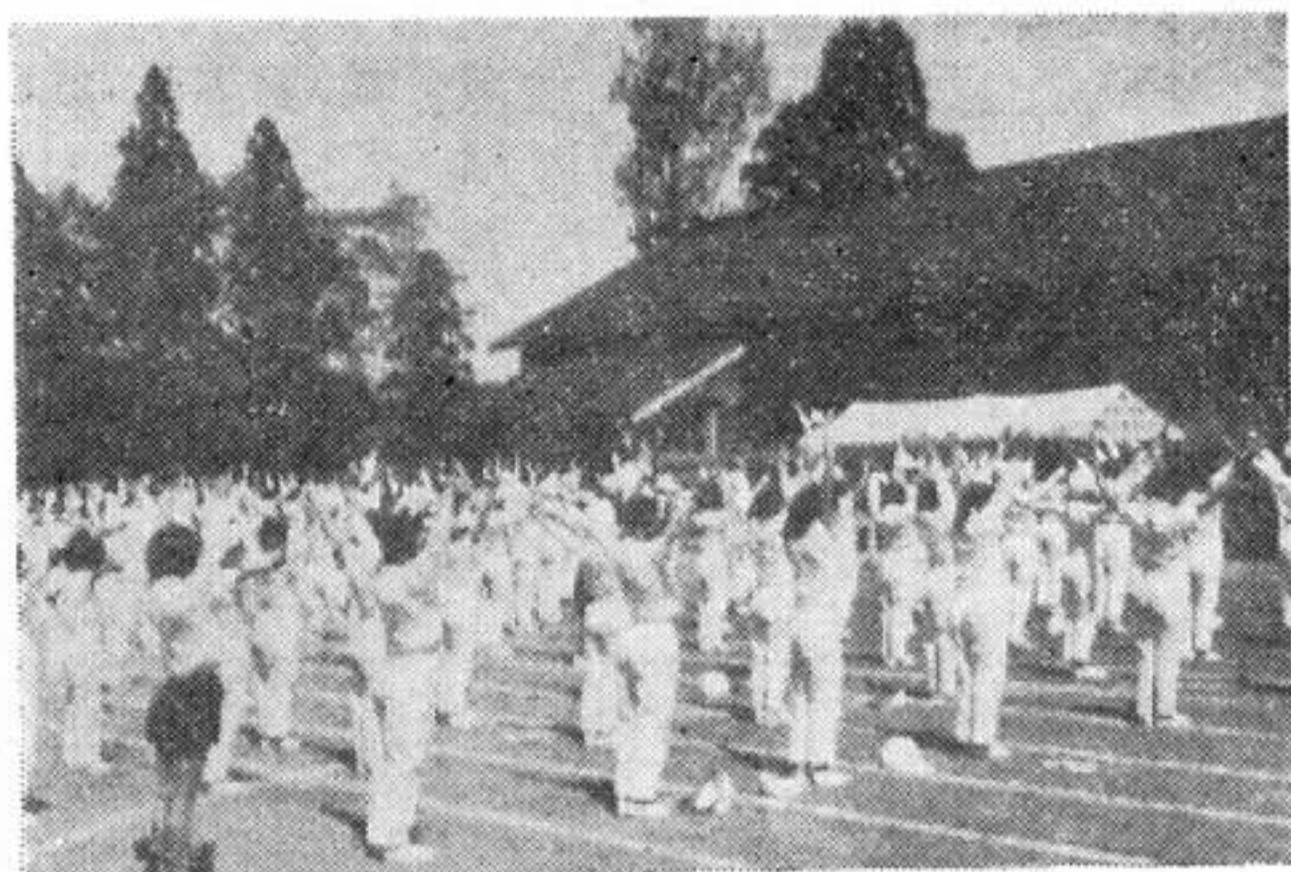
○第5区連合PTAの総会が5月26日老方小学校で開かれ、本年の連合体育大会について協議した結果、6月12日、台山グラウンドで開催することにした。

○これは本荘市、由利郡小中学校連合体育会が例年より早く6月16日に開催されることになったのでその予選を兼ねて行うため、これに合せて期日も早まったもの。

○なお、これまでの体育大会

6月家庭の日
6月の第3日曜日「家庭の日」は「父の日」にあたります。家族みんなで工夫して、お父さんにおくり物をとか・作文を書くとか、心からおとうさんに感謝する日といたしましょう。

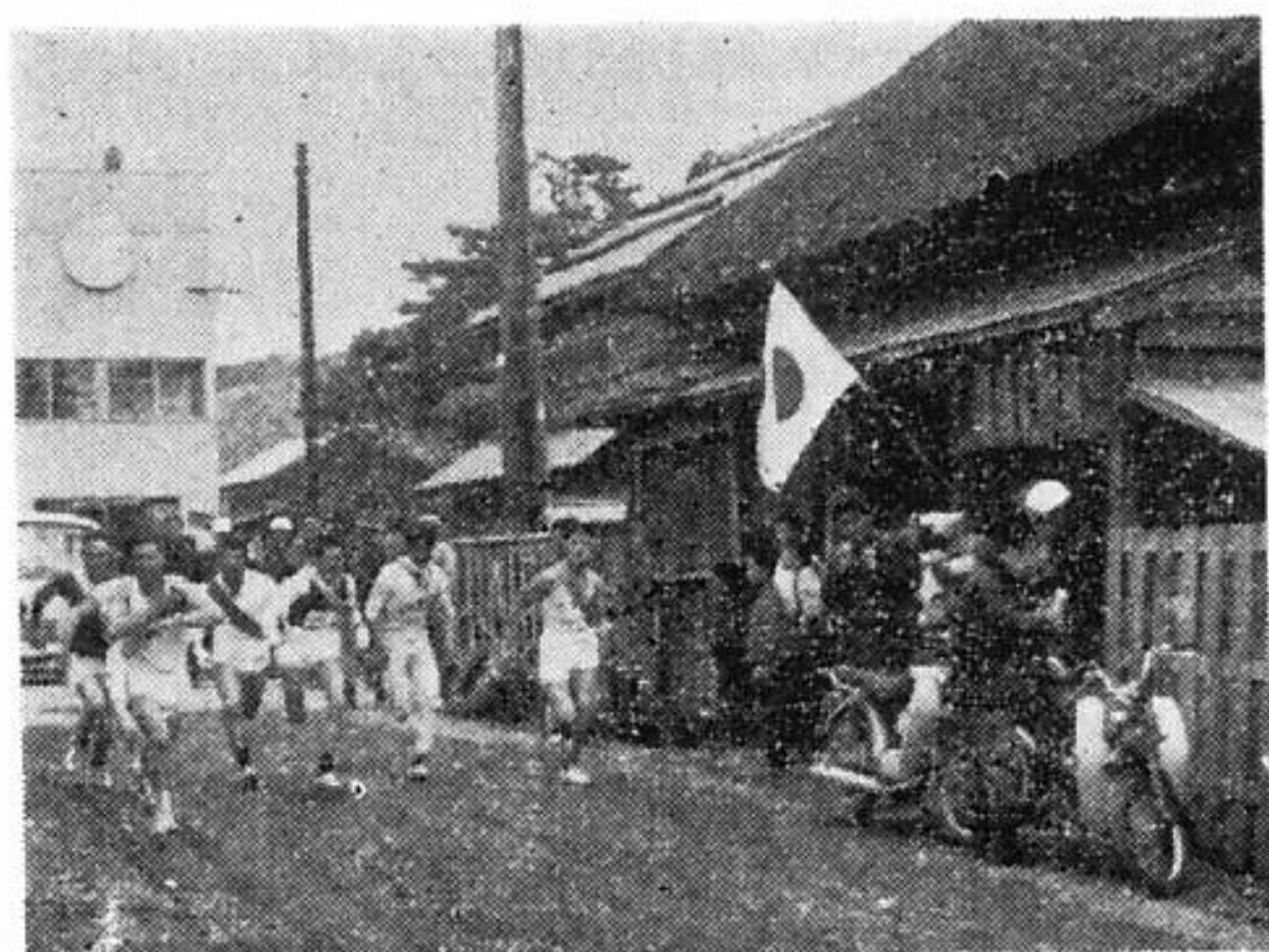
は競技記録はもちろん、住民のレクリエーションの意味も加えて開催されてきたが、各地域で行われる家族運動会やリズム体育大会との関連、それに構造改善事業の進展状況などから、本年以降は記録重視の体育大会とし、これに参加する児童・生徒は全員が弁当持参とし、父兄の負担がかからないものにすることを申し合せた。



運動会

萌ゆる若葉にそよぐ風
ふりそぐ5月の日ざしにめぐまれて

各学校の運動会は
親子ともどもたのしく行われた



青年会駅伝競争

青年会恒例の駅伝競争は、5月5日参加7チーム56選手出場のもとに、住吉、大琴間往復24キロのコースで、沿道住民の盛んな声援のもとに行われた。

1位、宿チーム

2位、定時制高校チーム

3位、高村チーム

写真、映画館前のスタート

畜産だより

10日 生産・登録検査	台山
13日 ピロ検査	若林
14日 ピロ検査	朴沢
下旬 ブルセラ病検査	
下旬 帰産共進会	台山
7月2日 家畜市場	台山

(牛馬の出生届は早めに済ませて下さい)

（牛馬の出生届は早めに済ませて下さい）

長谷山さんのおたより

八文島から

いつもいつも「村報」のご惠送にあづかり、大変ありがとうございます。

この度ヒヨンな風の吹きまわしから、2カ年の計画で、都下最高のへき地で生活する気を起こして、こちらへ参りました。

先日の飛び石連休に帰郷いたしましたが、ここは飛行機でも往々に5日・復りに3日もかかるので、さすがに「遠いなあ」と思いました。従つて都心部での1時間は1週間に拡大した単位で考えないことにはピントが合いません

全戸数の7割以上が「ヤモメ暮し」で、現金の必要は全くなく、山幸、海幸をとり、みんなで分けあってたべます

受け持ちは私の娘を入れた3人だけで、或いは独立学校としては、日本一小さい学校かも知れません。住民はみんなよい人たちばかりです。

私がガルスをしている間の「東由利会」の事務局は畠山隆一氏にお願いをしてありますので、今後ともよろしくお頼みいたします。

まだ使える?家も、車もそして女房もおいて来たのですからみんなに「ものずきだなあ」といわれますが、教育者

の目でへき地といわれるところを、じっくり見つめたいと思っています。

東京都八丈島八丈町宇津木

長谷山治弥

村長宛

資金をつくろう

村の農業構造改善事業もいくたびとなく、予想もしない困難につきあたりながら、関係者の総力をあげての努力により問題を解決して、ここ数日中に田植に取りかかるまでになった。高いところからながめるところがもとのたんぽであったかと見ちがえるまでに美しく姿をかえた。

しかし問題はこれからです基盤整備による消力によってうかんだひまを何によって生産にむけるか?これこそ構造改善事業そのものよりも真けんに取り組まなければならぬ問題であろう。

何をやるにも先立つものは資金である。村には改善事業や道路堤防その他の工事が盛んに行われていて機械のうなりで一ぱいである。これらの工事に出て計画的に資金をたくわえ、来るべき生産拡大の準備をすることが極めて大切なことと思います。

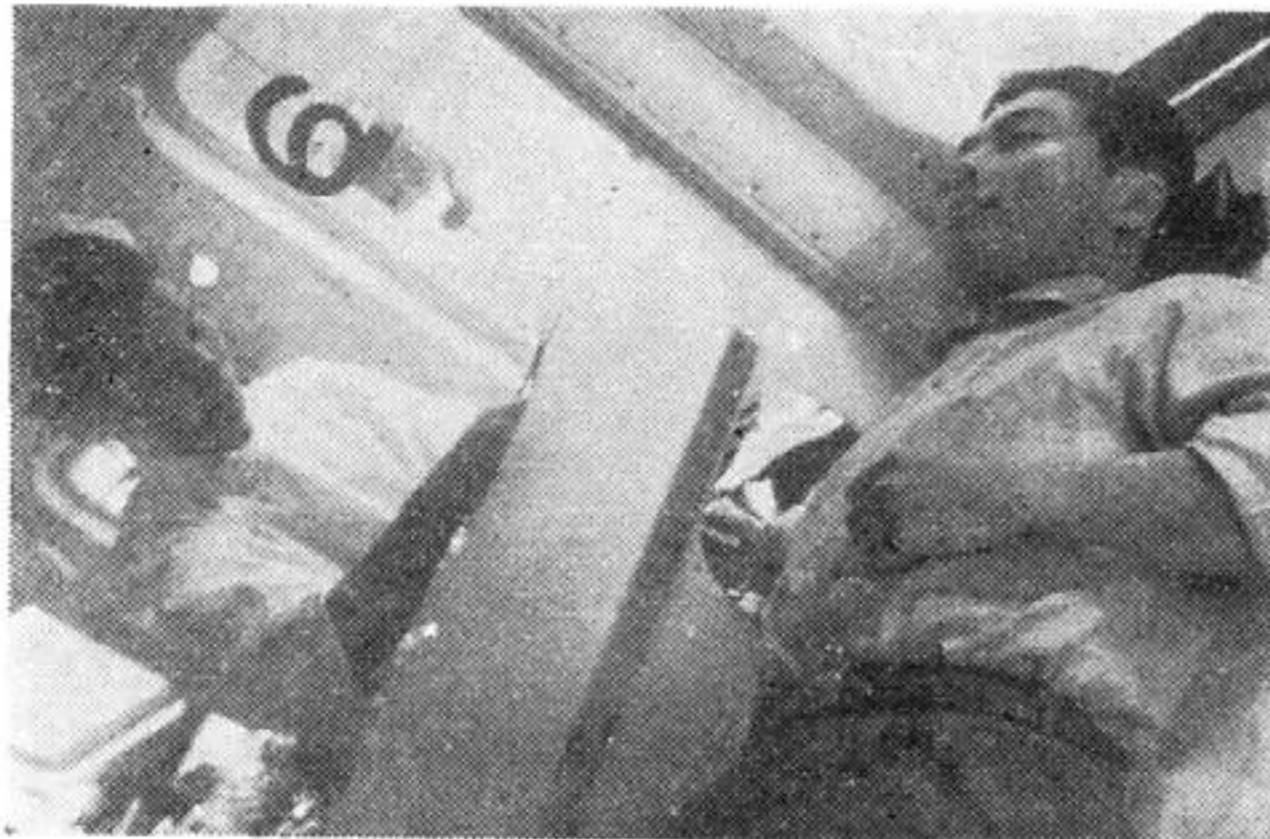


交通安全協会

から表彰

5月7日、下郷中学校子ども交通安全会は、年來の交通安全に対する努力が認められ

本荘地区交通安全協会から表彰された。



▷献血に協力◁

県内の深刻な血液不足は、自衛隊などの好意だけに甘えていられなくなった。何しろ直接人命に関する重大問題だけに「県民の血は県民の手で」といわれている折柄、去る4月27日献血車あかつき号が巡回して來たので、我が村では次のとおり協力した。

場所	献血者	採血	不適者
大琴	8	5	3

本荘高校	28	15	13
役場前	19	16	3
折角献血の熱意を持ちながら採血出来なかつた方々はいづれも、血液の比重が低かったため、これは重に蛋白質などによる栄養が不足しているということであるから、本人自身のためにも体力の充実につとめられたいとのことである。			

全県指導者大琴に集合

蚕業研修会

5月6・7日の2日間、東北農政局島田技官・県蚕業試験場黒沢場長を始め、県内養蚕指導者37名と村長以下村蚕利用組合役員など15名が次の日程によって蚕業の研修をした。

第1日 5月6日



労災保険加入

新らしく農家も

今度労災保険法が改められて農家も加入出来ます。

耕耘機運転など危険な仕事をする方の加入をおすすめします。加入希望の方は農協に相談してください。

県生命保険協会より

図書の贈りもの

祝沢分校へ

○県内7つの分校へ、幼年世界名作文学全集(18巻)近代日本文学名作選(22巻)金額にして合計11,500円

○これは昨年11月の「生命保険の月」にちなんで17社の職員約4千人が「なにか社会のために役立つことを…」と、「愛の社内募金」を行ない、「昨年について恵まれない辺地校の子どもたちのために使おう」ということになり、その一つに祝沢分校が入ったものである



○分校の子どもたちは大喜びで、校外貸出しも行なっているが、親たちも、子どもたちに交って熱心な愛読者になっている。

ありがとう

次の方々から、村社会福祉協議会に対しご寄付がありました。まことにありがとうございます。

2,363円、玉米中学校40年度卒業生(小松二郎先生担任学級費より)

1万円、5月11日、袖山畠山正氏より、母堂の葬祭に際して。

1万円、横渡、小笠原豊吉氏より、親父の葬祭に際して。

百科大辞典寄贈

下郷中学校へ

5月11日、藏阿部春雄さんより下郷中学校に日本百科大辞典、全14巻(金額にして2万1千円)が寄贈になりました。これは東京にいた妹さん(26才)の遺品で当人が生前非常に大事にしていたものであり、特に妹さんは深い学校思いであったことなどから、自分の家にも中学生がいるけれど、多くの子どもに役立つようにと学校に寄贈したものである。これで故人もよろこんでいることだろうと春雄さんは話していた。

電圧改善工事

停電にご協力を

東北電力では日ごろの需要者のご愛顧におこたえするため、電圧の根本的な改善をはかるため、このたびご当地の電圧を現在の3千ボルトから一挙に6千ボルトに昇圧し、どなた様にも良質の電気をお使いいただけます。

つきましては、まことにご迷惑をおかけいたしますが、この工事のため次の日程で停電させていただきますので、事情ご了承の上、ご協力くださいますようお願い申しあげます。

なお停電の変更の場合は当社で地域別に連絡いたします(東北電力、下郷出張所)。

停電日(6月分)

6月10日、田代・住吉・時岡山・下小屋・高戸屋・須根田・滝ノ沢・館合・新田

6月17日、館合・西久保・王子海保・山崎・松柴・善徳・板戸・新沢・八日町・横山跡見坂・老方一部・湯出里寺田・茂沢

なおこの工事は9月までかかりますので、7月以後の停電日はその月々におしらせいたします。

森林組合新役員

4月改選

組合長理事 小松忠一郎
副組合長理事 小松慎一
理事、渡辺福蔵・小松久一郎
高橋重助・長沢毅・木島節
造・石綿民之助・畠山正(新)
八島由利三(新) 阿部
清一郎(新)
代表監事、小松栄男
監事、工藤美德・小野昭一

電気に注意

バカと鉄は 使いよう

電気は便利なものだが、あ
ぶないものだ。使い方に注意
しなければ大変な事故のもと
になる。次のことを心がけて
安全に便利にご利用下さい。



- 1、ひな育てに裸電球の使用
は火災のもととなる。
- 2、はだしで洗濯器やモータ
ー類の取扱いあぶない。
- 3、アイロン・コンロなど使
ったあとは、必ずコードを
はずすこと。
- 4、安全器にはシーブスの外
は使わないように。
- 5、屋根の上の作業は特に電
線に気をつける。
- 6、電線が木や屋根などにふ
れて危険な個所は、発見次
第出張所に知らせて下さい。
- 7、街灯の球切れ・故障はみ
んなで注意し明るい街
にいたしましょう。

(東北電力)

職業安定

協力員の制度

国の経済生長とともに農家の若い労働力がどんどん他産業に流れていって、農村自体の農業経営が困難になってきた。そしてこの傾向は年とともにひどくなっている。このままにしておくことが出来なくなってしまった。

そこで農林省では、農繁期の労働力の調整・季節出稼者

林業改良

指導員かわる

本村駐在の林業改良指導員として熱心に努力せられ、深く村民から親しまれていた竹村等氏は4月始め鹿角農林事務所に転勤しましたので、その後任に、秋田農林事務所から山田国雄氏がお出になっています。

山田さんに抱負をきいてみた林業の根本は林業そのものに面白味を持つことだ。何んとかして興味を持つようにしたい。この村の林業は非常に進んだ人と、おくれた人との格差が大きい。先づ手をつけるのはおくれと人を、進んだ人の水準まで高めたいと考えている。



の指導・営農の計画経営などにより、農業の基幹労働力を確保すると共に、他産業への就業に関する啓発指導・連絡等の必要から「農家労働力対策連絡員」の制度を設け、村農業委員会で委嘱することになった。

更に職業安定所をとおして就業のあっせんをはかるため労働省よりの依頼で連絡員の中から2名の協力員を委嘱することになった。

本村の連絡員・協力員は次のとおりである。

農家労働対策連絡員

渡辺隆藏 小野勝海

太田千代三 佐々木貞一

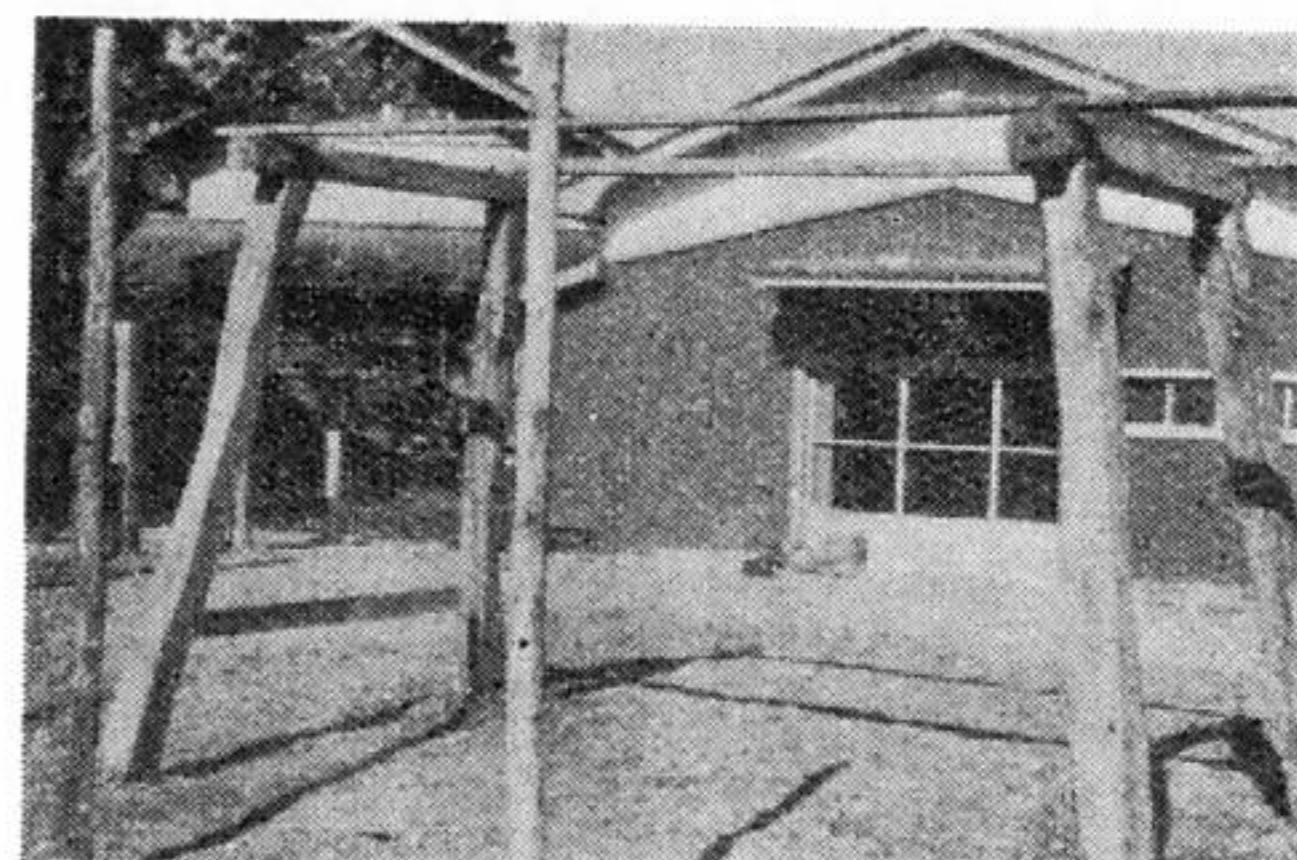
職業安定協力員

佐々木貞一 小野勝海



藏立寺改築ほぼおわる

昨年暮から準備を進めていた藏立寺の屋根の改装・庫裏を本堂から切りはなして改築



遊具整備進む 新田児童館

今春早々児童館前に遊び場

する工事は、工費250万円で今春から進められていたが、この程大体出来上った。

をつくった新田部落では、周囲に金あみを張って球技にそなえ、更に大型遊具の施設を急いでいた。

八郎潟入植希望者(第1次)募集

八郎潟中央干拓予定地入植希望者の第1次募集が始まります。入植希望者は申込み手続き等役場経済課に問い合わせて下さい。

○募集時期 6月中旬の予定
(官報に広告した日から)

○第1次入植予定戸数 100戸
(全国から)

○提出書類は、配分申込書(正副3通)と添付書類として健康診断書・戸籍謄本・住民登録謄本・履歴書・誓約書・携行資金及び負債額申告書・耕作状況及び譲渡計画申告書・免許等の写し・婚約証明書

以上各1通(用紙は役場)

○入植者選定基準(主要点)

①年令は入植当時満20才~40

才未満で機械使用を中心とする強度の労働に耐え得る十分な体力を有するもの

②労働力が1家に1、7人以上あるもの

③携行資金は家族2人の場合

5ヘクタール 90万円

7、5ヘクタール 115万円

10ヘクタール 140万円

※書類の提出は募集開始の日から10日以内に、県知事に送付しなければならないので、募集広告が出る前から整備されるようおすすめします。

なおくわしいことについて直接役場にお出下さい。